

世界各国における自然保護地域の 指定動向について

○千葉大学園芸学部 油井正昭
// 古谷勝則

1. はじめに

人間生活の発達とともに地球温暖化、砂漠化の進行、森林の消滅など地球規模の環境問題が顕在化しており、国際的にその改善の努力が行われている。

世界各国では、自国の自然を保護する目的で、各種の自然保護地域を指定している。現在、自然保護地域を指定している国は、180カ国を超えており、地球環境の保全に多大な貢献をしていると考える。

本論は、世界各国の自然保護地域の指定状況を把握し、その特徴を明らかにすることを目的とする。

各国の自然保護地域は、国際自然保護連合（IUCN＝各国政府、政府機関、各国内非政府機関、国際的非政府機関を会員とする自然保護に関する国際機関）から公表されている。1994年の公表資料と各国の自然保護地域に関わる収集した文献の分析を中心に研究を行った。

2. 自然保護地域の種類と指定状況

各国が指定している自然保護地域は、多種多様である。各国の制度を見なければ正確な保護内容はわからないが、指定の名称から野生生物の保護を目的としたり、景観の保護を目的としているなどの判断ができる。その目的を分類すると、①一定地域の自然の保護、②野生生物の保護、③生態系の保護、④学術的価値の高い地域の保護、⑤景観の保護、⑥野外レクリエーション資質の保護、⑦風景の保護と利用、⑧歴史的文化的価値が高い地域の保護、⑨禁猟、⑩その他（原住民のための保護地域など）、の10種に整理できる。

自然保護地域の指定状況について、保護地域の目的別にアジア、オセアニア、アフリカヨーロッパ、NIS諸国（New Independent States、旧ソ連の新独立国のうちエストニアラトビア、リトアニアを除く12カ国）、北アメリカ、南アメリカ、南極周辺（南極条約のテリトリーとイギリス、ノルウェー、フランスなどが南緯度の高い地域に領有している諸島など）の8地域に分けて表-1に示した。自然保護地域は、184の国または地域（以下「国」とする）に合計9972カ所指定されている。このうち最も多いのはWilderness Area、Nature Reserve、Nature Conservation Areaなどの名称を用いている「一定地域の自然の保護」を目的にした地域で3490カ所、全体の35%を占めている。指定カ所は、ヨーロッパに多い特徴がある。

2番目は、National Park、Marine National Parkなどの国立公園に該当する「風景の保護と利用」を目的とした保護地域で1593カ所、約16%である。この風景の保護と利用をする地域は、140カ国を超える国が指定しており、最も普及している保護地域となっている。

3番目はラムサール条約、ワシントン条約、生物多様性条約など国際条約の締結を背景に、近年国際的に関心が高まっている「野生生物の保護」を目的とする保護地域で、159カ所、約15%である。野生生物の保護地域は、北アメリカ（649カ所）とアジア（525カ所）に多い特徴がある。アジアでは、中国が421カ所を指定しており一国としては指定数カ最大である。

表-1 自然保護目的別、地域別の自然保護地域数と国数

区 分	ア ジ ア	オ セ ア ニア	ア フリ カ	ヨ ー ロ ッ パ	N I S 諸 国	北 ア メ リ カ	南 ア メ リ カ	南 極 周 辺	計	構 成 比 (%)
① 一定地域の 自然の保護	695	359	291	1015	165	749	206	10	3490	35.0
	19	6	23	32	12	13	11	3	119	
② 野生生物の 保 護	525	117	108	47	—	649	93	—	1539	15.4
	13	8	24	7	—	15	10	—	77	
③ 生態系 の 保 護	64	68	5	—	—	56	110	—	303	3.1
	4	4	3	—	—	5	4	—	20	
④ 学術的価値 の高い地域 の 保 護	6	7	9	39	—	49	—	13	123	1.2
	3	2	5	5	—	6	—	2	23	
⑤ 景観の保護	45	66	2	883	4	63	17	—	1080	10.8
	3	1	1	22	1	5	5	—	38	
⑥ 野外レクリ エーション 資質の保護	62	184	22	351	—	741	87	1	1448	14.5
	6	3	4	15	—	7	5	1	41	
⑦ 風景の保護 と 利 用	356	322	225	246	33	213	197	1	1593	16.3
	27	5	42	33	8	20	11	1	147	
⑧ 歴史的文化的 価値の高い 地域保護	—	6	—	3	1	53	4	—	67	0.7
	—	1	—	2	1	6	3	—	13	
⑨ 禁 猟	46	9	73	76	94	21	—	—	319	3.2
	2	1	10	3	3	2	—	—	21	
⑩ そ の 他	3	5	—	2	—	—	—	—	10	0.1
	1	2	—	2	—	—	—	—	5	
計	1802	1143	735	2662	297	2594	714	25	9972	100.0
	32	12	49	34	12	28	13	4	184	

注：上段は自然保護地域数、下段は国数

3. 自然保護地域の面積

自然保護地域の面積をまとめたのが表-2である。表は規模の関係で単位を万haで示した。合計面積は9億5千6万haである。面積が最も多いのは、風景の保護と利用を目的とする保護地域で、全体の約35%を占めている。指定カ所数では3位だったので、1カ所当たりの面積が大きいことが予測される。地域別ではヨーロッパが最大面積になっている。その背景は、世界最大のグリーンランド国立公園（デンマーク）が、1公園で9720万haを

表-2 自然保護目的別、地域別の自然保護地域面積

単位：万ha

区 分	ア ジ ア	オ セ ア ニ ア	ア フ リ カ	ヨ ー ロ ッ パ	N I S 諸 国	北 ア メ リ カ	南 ア メ リ カ	南 極 周 辺	計	構 成 比 (%)
①一定地域の 自然の保護	7955	2530	1509	1264	4986	5907	4288	2	28441	29.7
②野生生物の 保 護	1996	86	3060	85	—	9265	515	—	15007	15.8
③生 態 系 の 保 護	48	26	51	—	—	56	694	—	875	0.9
④学術的価値 の高い地域 の 保 護	1	2	8	14	—	56	—	24	105	0.1
⑤景観の保護	246	23	1	1411	1	290	117	—	2089	2.2
⑥野外レクリ エーション 資質の保護	102	4734	826	1526	—	2403	532	1	10124	10.7
⑦風景の保護 と 利 用	3142	2553	7601	10741	509	3912	5131	4	33593	35.4
⑧歴史的文化的 価値の高い 地域保護	—	3	—	1	3	734	4	—	745	0.8
⑨禁 猟	371	2	1891	170	1453	100	—	—	3987	4.2
⑩そ の 他	4	34	—	2	—	—	—	—	40	0.2
計	13865	9993	14974	15214	6952	22723	11281	31	95006	100.0

占めている点にある。

各国の自然保護地域の国土面積に対する比率を算出したところ、デンマークが45.0%と最高値となったが、20%を超える国がエクアドル、ベネズエラ、ドイツ、ニュージーランド、オーストリア、ドミニカ共和国、イギリスなど11カ国存在する。

4. 自然保護地域のはじまり

保護地域の目的別に、8地域における最初の指定年と設置した国を示したのが表-3である。国際自然保護連合の資料に指定年の不明な保護地域が数多く出ているので、若干異なる部分がある可能性がある。この表-3から、自然保護地域の指定が古いのは北アメリカで、特にカナダとアメリカ合衆国は、1800年代の後半から種々の自然保護地域を設置していた。

表-3 自然保護目的別の最初の指定年と設置国

区分	アジア	オセアニア	アフリカ	ヨーロッパ	NIS諸国	北アメリカ	南アメリカ	南極周辺
① 一定地域の自然の保護	1920 インドネシア	1907 ニュージランド	1905 南アフリカ	1902 デンマーク	1912 クルジア	1893 カナダ	1907 チリ	1971 ルウェー
② 野生生物の保護	1920 フィリピン	1937 オーストラリア	1925 中央アフリカ	1926 デンマーク	-	1887 カナダ	1966 ウルグアイ	-
③ 生態系の保護	1931 マレーシア	1977 ニュージランド	1890 南アフリカ	-	-	1968 カナダ	1958 アルゼンチン	-
④ 学術的価値の高い地域の保護	1979 クウェート	1979 オーストラリア	1962 モロッコ	1921 リビア	-	1958 カナダ	-	1975 イギリス
⑤ 景観の保護	1950 中国	1903 ニュージランド	1948 ザンビア	1938 ドイツ	不明	1930 アメリカ合衆国	1949 ベネズエラ	-
⑥ 野外レクリエーション資質の保護	1956 マレーシア	1922 オーストラリア	1939 南アフリカ	1921 ドイツ	-	1893 カナダ	1936 アルゼンチン	1975 イギリス
⑦ 風景の保護と利用	1933 フィリピン	1879 オーストラリア	1907 ナミビア	1909 スウェーデン	1939 ベルールス	1872 アメリカ合衆国	1915 ウルグアイ	1924 フランス
⑧ 歴史的文化的価値の高い地域の保護	-	1963 オーストラリア	-	1960 ブルガリア	1986 ロシア	1917 アメリカ合衆国	1954 アルゼンチン	-
⑨ 禁 獵	1919 インドネシア	1967 オーストラリア	1929 ウガンダ	1966 スペイン	1957 ウクライナ ロシア	1939 カナダ	-	-

この表-3で保護地域の目的別に一つの傾向が見られる。それは、一定地域の自然の保護はいずれの地域でも指定が古く、およそ1900年代の早い時期である。野生生物の保護地域は1920ないし30年代、風景の保護と利用も1900年代の前半に各地で指定を見ている。また、景観の保護を目的の地域は、オセアニアでは早い、他の地域は1930~1950年にかけて、学術的価値の高い地域や、歴史的文化的な価値の高い地域の保護も一部の地域で早い、1900年代後半になって指定が始まっている。自然保護地域の指定に対する世界の流れが存在するように思われる。

5. まとめ

地球環境の保護は国際問題であり、各国が改善に努力しなければならない課題の一つである。本論では、世界各国が取り組んでいる自然保護地域の指定状況を取り上げ、その特徴を述べた。各国には、国家レベル以外の自然保護地域が存在すると思われるが、本論ではふれることができなかった。